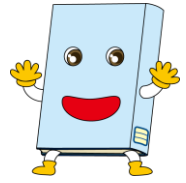


トショカン/ホント



校長 宮沢 亨 図書担当 佐藤三枝、中野香織 平成 27 年 2 月 20 日発行



今年度の読書を振り返ってみよう

今年度も残すところわずかとなりました。昨年度とくらべて今年度はどんな読書体験ができましたか。昼休みに図書室に来た生徒たちにインタビューをしました。

◇図書室の本の種類が増えたので読む幅が広くなり、視野が広がった。
◇ライトノベルも面白いけど、昔からある純文学はやはり深みがあっていいと感じた。 (2年男子)



昨年度と同様に歴史ものや小説をたくさん読みました！ (2年女子)

◇教室が図書室に近くなって来やすくなった。新しい本のコーナーが本を手に取りやすくて良いと思います。
◇卒業までに図書室の本をたくさん読みたい。
◇受験用の小論文対策の為に、たくさんの活字に触れられるよう昨年度より読書をした。
◇「おすすめ 99 冊@四中」のリストをよく活用した。 (3年女子)



◇色々な考えをもちたいと思い、自己啓発本や心理学の本を読むようになった。一つの事を違った観点から見たり、考えたりすることができるようになった！ (3年男子)



物語以外に知識として取り入れたい本をよむようになった！ (1年女子)



◇小学校の図書室よりも小説以外の大人っぽい色々な本がたくさんあるので、読書の幅が広がった。
◇学習委員になってよく図書室に来るようになったら、興味深い本をたくさん発見できた！ (1年男子)



文芸部によるおはなし会♪



2月9日(月)16時～図書室にて、文芸部の生徒が読み聞かせをしました。ファンタジーの中に哲学的な要素もあり、考えさせられるお話に、聞きに来た生徒はひきこまれていました。画集のように美しいお話の絵を近くで見ることができた素敵な読み聞かせでした。

読んだお話の中からびっくあっぷ。。。

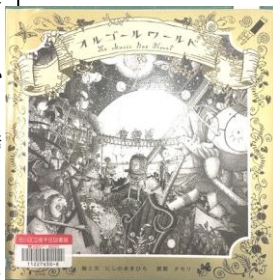


「オルゴールワールド」

にしにあきひろ作・絵

僕が恋した少女は、「好き」という言葉がない国で育った。けれど、少女は、僕の知らない美しい音楽を知っていた。「好きってなに？」と少女に問われ、「なにかを犠牲にしても守りたい、という気持ちのことだよ」と僕は言った。「じゃあ、『好き』がある以上、なにかが犠牲になってしまうことがあるということね」と言う少女。

「好き」の違いから争いの絶えない国、価値観の違う世界を繋ぐ魔法を長老が僕に教えてくれたんだ。それは「感動、だと・・・」。



先生方が紹介した本たち



校長先生 26年度 12月号



副校長先生 26年度 1月号

「トショカンノホント(図書だより)」では先生方のおすすめ本を定期的に紹介しています。図書室には「トショカンノホント」で先生方が紹介した本を展示するコーナーがあります。とても人気のコーナーです。

何月号にどの先生のおすすめ本がのっているのかな？

- 小林先生 25年度 5月号
- 紙谷先生 25年度 12月号
- 小澤先生 25年度 3月号
- 野原先生 26年度 4月号
- 星野先生 26年度 10月号



三浦先生 25年度 1月号



島田先生 25年度 6月号

四中のホームページの「図書室」の所で、過去のトショカンノホントが読めます。四中ホームページは毎日更新されているので日々の四中生徒の様子もわかってとても楽しいですよ♪

